



2023年度 成果発表 (部門)



NO	種類	発表部署名	ページ
1	センター	がん診療センター（ゲノム、相談含む）	1
2		健診センター	3
3		遺伝相談室	5
4		認知症疾患医療センター	7
5	院長直下	医療安全推進室	9
6		感染対策室	11
7		教育研修センター	13
8	看護部	看護部	15
9	薬剤部	薬剤室	17
10		臨床研究管理室	19
11	医療技術部	放射線診断技術科	21
12		放射線治療技術科	23
13		臨床検査技術科	25
14		リハビリテーション技術科	27
15		臨床工学科	29
16		栄養管理室	31
17		臨床支援技術科	32

NO	種類	発表部署名	ページ
18	地域医療支援センター	地域医療連携室	36
19		入退院管理室	38
20		医療・福祉相談室	40
21	事務部	病院総務課	42
22		医事課	44
23		経営企画課	46

2023年度成果発表

がん診療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- ・がん遺伝子パネル検査 年間50件
 - うち、新規(もしくは適応拡大)薬物治療導入 3件
- ・中東遠医療機関とのゲノム医療連携体制の整備

現時点で **155件** 他院紹介12件

うち、ふじのくにネットワーク使用した

中東遠医療圏の他機関紹介は 5件(他は島田6件)
瀧浪医師、多職種の方々のご協力ありがとうございます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- ・がん遺伝カウンセリング 年間20件

2月末時点で **20件**

瀧浪医師のがん遺伝外来は 5件

- ・放射線治療、外来化学療法治療症例数の維持
ほぼ達成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

がん診療センター 2023年度の課題

しかし、、、

がん遺伝子パネル検査は

**実際の純粋な利益: 請求可能保険点数一検査費用・外注費・人件費
が、それほど高くない**

【診療報酬】がんゲノムプロファイリング評価提供料 12,000点
+ がんゲノムプロファイリング検査 44,000点

【検査委託料】 FoundationOne CDx etc 462,000円(税抜 420,000円)

【エキスパートパネル開催手数料】 静岡がんセンター手数料 : 20,000円

【その他の消耗費、人件費】 +α



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

がん診療センター 2023年度の課題

それでも、

- ・がんの個別治療
- ・今後保険認可されるであろう
がんゲノムFull SequencingによるTailor-madeがん治療
のためにはある程度の件数は必要



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

肝胆膵外科としての 2023年度の成果

- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医取得

木内亮太医師が昨年取得
ただし、静岡市立清水病院へ異動

今後、神藤医師、4月赴任の村木医師に
取得を目指していただく



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- ・最新かつ安全ながん診療を提供する
- ・常勤の遺伝カウンセラーの確保
(数年以内)
- ・生き方を大切にするがん治療を行う



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

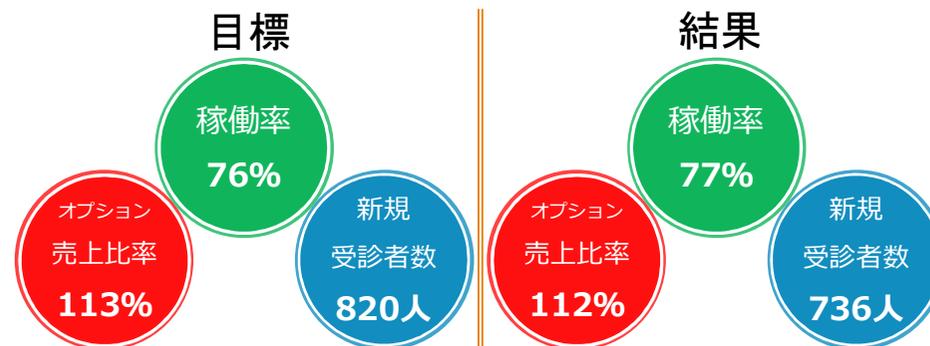
健診センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

◆ 1日人間ドック収益の向上

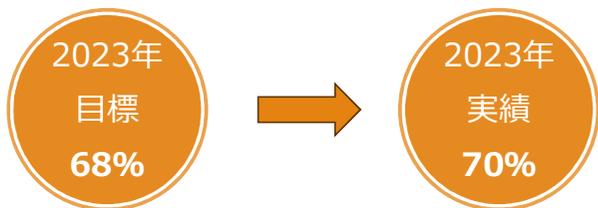


磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

◆ 特定保健指導実施率と保健指導の質の向上

	2019年	2020年	2021年	2022年
実施率	40.9%	56.5%	66.8%	66.9%



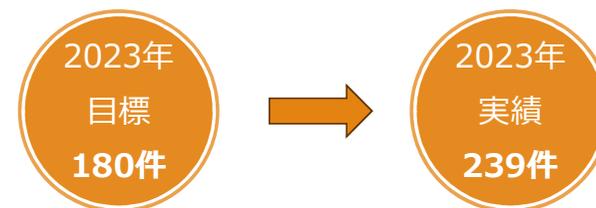
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

◆ 健診事後対応の充実

◎ 労災二次健診受診希望者への場の提供

	2019年	2020年	2021年	2022年
件数	16件	14件	15件	140件



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

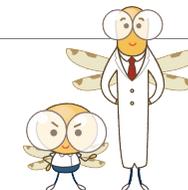
- ◆ 食育を目的とした人間ドック食のリニューアル
「知らずに美味しく減塩」を目標にメニューを作成
2023年11月より提供を開始
- ◆ 受診者の利便性向上と業務の効率化
【インターネット予約・問診・結果閲覧】
2024年度受診予約分より運用開始



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- サービスの質の向上に努めます
- 既存受診者の定着、新規顧客の獲得に努めます
- 継続かつ安定的な収益性の確保に努めます



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

遺伝相談室



2023年度の成果

浜松医大小児科関連研究施設として遺伝子診断

疾患名	責任遺伝子	備考
肥厚性皮膚骨膜症 1例	HPGD遺伝子	稀少疾患、全国で100人未満と推定されている
完全型アンドロゲン不応症 1例	AR遺伝子	婦人科からのコンサルト症例



2023年度の成果

かずさ遺伝子検査室で遺伝子診断

疾患名	責任遺伝子	備考
マルファン症候群 1例	FBN1遺伝子変異	今後の治療方針決定に影響
ロイス・ディーツ症候群 1例	SMAD3遺伝子変異	今後の治療方針決定に影響
ピールズ症候群疑い 1例	FBN2遺伝子変異 (広範囲欠失?)	かずさのみで変異確定できず 今後関連施設で解析予定



2023年度の成果

- ・ヨーロッパ小児内分泌学会で症例報告
- ・当院初診から診断に至った4世代に渡る低フォスファターゼ症家族例



2023年度の成果

当院がNIPT認証医療機関(連携施設)として認証された

NIPT=非侵襲的出生前遺伝子検査

今後磐田病院で上記検査が可能となる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

・個人として

国際学会発表症例を論文化したい

稀少疾患の学会発表を行いたい

臨床遺伝専門医指導医の取得を目標とした診療を行う

・遺伝相談室として

遺伝性疾患の診断に関連する院内コンサルトに対応する

NIPT認証医療機関の遺伝部門として遺伝カウンセリング等の対応を行う



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

認知症疾患医療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

鑑別診断について

- ◆ 認知症の鑑別診断
40件／年間以上が目標
→ 39件(3月12日現在) 目標クリア見込
- ◆ 鑑別診断の為の外来枠について
2枠／週 → 4枠／週まで予約可能
予約申込状況に応じて柔軟に対応可能な体制に変更



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

医療福祉相談と管理料の算定

- ◆ 医療福祉相談
200件／年間以上が目標
→ 212件(2月末) **クリア!**
- ◆ 診療報酬取得のための積極的な取り組み
認知症専門診断管理料1(700点)
医師、公認心理師、認知症看護認定看護師、
専門医療相談員等協働して計画書を作成し、患者家族へ説明し算定している。関係機関へも提示してもらうよう案内をして渡している。
5件以上 → 10件 **クリア!**



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

地域との連携体制作りの強化

- ◆ リーフレットの作成
周辺2市1町内クリニックへ配架を依頼
リーフレットの追加送付の依頼があり
送付後の紹介件数増加。
- ◆ 地域の認知症対策への貢献
地域包括企画のフォーラムへの講師派遣
医療機関職員に向けた勉強会講師派遣



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

人材育成について

◆ 認知症ケア研修会の開催

(年間を通した研修プログラムにより実施)

今年度4期生 16名参加

1～4期生 54名修了生

◆ 認知症ケア交流集会の開催(2024年2月7日)

1～4期生を対象に実践報告やGWを通じて、現場での不安や課題を共有出来、今後の看護ケアに活かせる場となった。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

『認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるように』

<共生社会の実現を推進するための認知症基本法>

地域の医療機関から紹介された患者の認知症鑑別診断に取り組み、院内・院外問わず認知症施策の関係機関と引き続き情報交換を行いながら、認知症の発症予防や悪化予防に努め、地域生活の維持に必要な医療を提供していきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

医療安全推進室



入院患者の転倒・転落発生率 (2023年4月～2024年1月)

	件数	3 b 件数	発生率	3 b 発生率
転倒	350	5	4.41 ‰ (全国 中央 値4.20～ 4.81)	0.044 ‰ (全国 中央 値0.08～ 0.10)
転落	147	0		

発生率： 入院中の患者に発生した転倒・転落件数/期間中の入院患者の延べ人数×1000

転倒・転落数は全国並だが 3 b 発生率が低い

- ・ センサーと併用してワンダーマットの導入
- ・ アセスメントの強化、3b以上は他職種カンファレンス



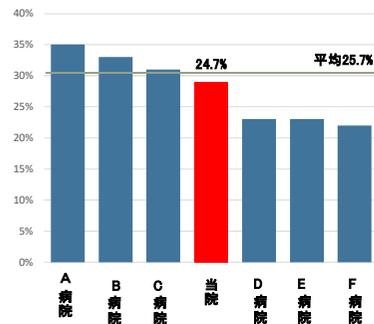
2023年度の新しいチャレンジ

- 入院患者の転倒・転落発生率
- 入院患者での転倒転落による 3 b 以上の発生率
- リスクレベル「中」以上の手術患者の肺血栓塞栓症予防対策の実施率

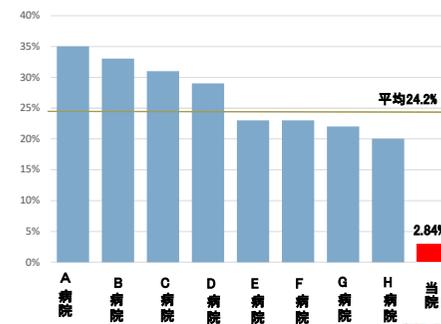


当院のリスクレベル「中」以上の患者の 血栓塞栓症予防対策の実施率

全診療科算定率



内科系診療科算定率



当院のリスクレベル「中」以上の患者の 血栓塞栓症予防対策の実施率向上策

医学管理サポート操作画面で【肺血栓塞栓症予防管理料（内科系）】
を選択

- ① 該当するリスク項目にチェックをし、管理内容を決定
- ② チェック内容によるリスクレベルの評価
- ③ 選択した管理内容にチェック



この操作をすることでカルテ記載が自動的にできる

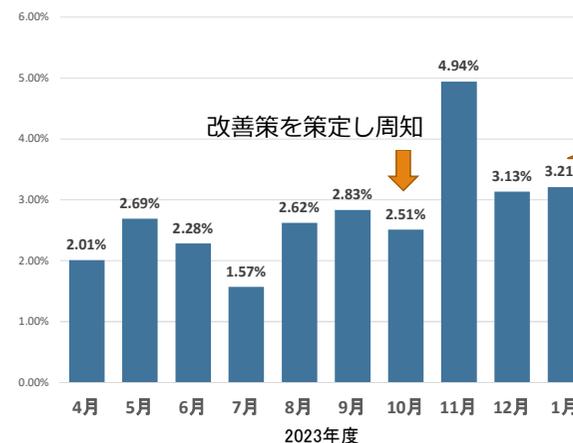
○リスクレベルが低リスク以下で予防管理を行っている場合は、コ
ストを算定しないよう事務がチェックします（外科系と同じ運用）



71

磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

当院のリスクレベル「中」以上の患者の 血栓塞栓症予防対策の実施率向上策の結果



まだまだ周知
が足りない



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

医療者・患者・家族に心理的安全性を担保し協力し合える環境作りをします。

井の中の蛙にならないよう数値化して絶えず評価します。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

感染対策室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

COVID-19の院内感染発生時の早期探知と対応

発生しても、単一部署にとどめる

→3件の病棟クラスターは発生したが単一病棟の発生であった

→クラスター以外の対応件数：113件（R4年：103件）

多剤耐性菌対応（バンコマイシン耐性腸球菌）

西部地域医療機関で当院が最初の検出

他部門・西部保健所・県内病院と連携し対応

→標準予防策・接触感染予防策実施状況の確認、ケアの見直し

感染防止対策研修会出席率の維持

2回平均95%以上→96.1%（1回目） 2回目実施中



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

感染対策向上加算・指導強化加算の確実な取得

加算1として

連携カンファレンスの開催・・・4回/年（加算2・3）

当院主催の訓練研修の実施・・・1回/年（加算2・3及び医師会）

相互評価・・・1回/年（加算1）

医師会と共同しカンファレンスの開催・・・3回/年（医師会）

助言体制の確立・・・4回/年（加算2・3回及び医師会）訪問指導

令和6年度 診療報酬改訂により上記に加え
磐田市内の福祉施設との連携・相談対応・訪問が必要となる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

サーベイランスの実施

サーベイランス過程確認（プロセスサーベイランス）を含めた

サーベイランスの開始とDWHを利用したデータ収集

カテーテル関連血流感染サーベイランス結果に対し2部署への介入

抗菌薬適正使用推進による薬剤感性率の向上

E.coliのLVFX

R4：77%（423件）→R5：73%（433件）横ばい

（国のAMR対策として2027年までに感性率を70%以上）

令和6年度 診療報酬改訂により
Access抗菌薬の使用比率の確認と抗菌薬外来抗菌薬適正使用への介入予定



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

感染対策のDX化

感染症発生報告システムの構築化 2病棟で試運用中

電子媒体による発生入力報告システムの構築

複数発生者情報の一元化

氏名、発症日、経過観察・就業制限期間などの自動化

感染管理認定看護師教育課程実習施設として

研修生の受け入れ

2名の研修生の受け入れ 次年度も受け入れ予定

血液体液曝露発生件数

30件以下→35件

廃棄方法の周知・部署対応の検討が課題



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

院内感染を防ぐために
院内の各部署、他施設、保健所と連携
協力し最善を尽くします



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果

教育研修センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果 「教育研修センター」

【臨床研修センター】

「目標」

- 1 医師確保策
医科初期研修医マッチング応募者55名
(前年度比+20%)



「成果」

医科初期研修医マッチング応募者42名
(前年度対比-9%)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果 「教育研修センター」

【臨床研修センター】

「目標」 “新しい取り組み”

- 2 指導医の確保と質の向上
プログラム責任者講習会・指導医講習会の受講者と
育成の一括管理



「成果」

プログラム責任者講習会 +1名
指導医講習会 +7名



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果 「教育研修センター」

【人材育成センター】

「目標」

- 専門研修(キャリアアップ)の推進
共通講習会のさらなる推進強化 3か年計画



「成果」 専門医更新・取得に必要な講習会「共通講習」

新たな研修会・カテゴリーを追加し2022年度3回→2023年度6回開催

NEW 臓器提供研修会(カテゴリー:医療倫理)

NEW 診療報酬講習会(カテゴリー: **NEW** 医療経済)

次年度以降も開催 !!



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

「教育研修センター」

地域医療診療体制を安定的に継続するために

【人材育成センター】

人材育成を重視した「キャリアプラン策定」を検討します

【臨床研修センター】

さらなる“医師確保策”及び

“指導医の確保と質の向上”を検討します



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

看護部

2023年度の課題・成果

- 1.専門性の高い知識を持った看護師の活用・看護外来を充実させる
【糖尿病合併症予防の適切な研修を終了している看護師の増員とフットケア外来枠の増加・リエゾン外来10件/月】



フットケア外来:54件(4月~2月)・・・○
外来枠:46枠/月・・・○
看護師:現在8人(5人増)・・・○
リエゾン外来:106件(4月~2月)
平均 8.8件・・・×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の課題・成果

2.地域連携の推進

- ・地域包括支援センター・訪問看護ステーションの協働で地域住民向けの勉強会を年2回開催



訪問看護ステーション職員を対象に勉強会を開催
看護連携も目的に当院の在宅療養支援検討委員会の方にも参加を促した。各地域包括支援センターに住民の方のニーズも踏まえた勉強会についての希望を確認中で実施できず。・・・△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の課題・成果

- 3.IT化による業務改善により、負担の軽減を図る
・HRジョイント導入によりバイタルサイン入力時間が20%削減できる。



昨年2月末より、HRジョイントを導入し、7月の時点で入力時間は10%削減できた。時間的に大幅な時間の削減はできなかったが、アンケート調査より導入して良かったという意見が多く聞かれた。・・・△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の課題・成果

4.特定行為研修機関開設と運用

・10月開設・次年度に向け、新しい講座の開講準備ができる。



8月に特定行為研修機関として認定され、10月から院内の受講生2名の研修が開始された。今後は次年度に向けて外部からの要望も確認し、準備を進めていく。・・・○



決意表明

- ・地域連携を強化し、チーム医療の推進の一助となるよう努めます。
- ・さらなる人材確保に向けて、職場環境の整備を行っていきます。



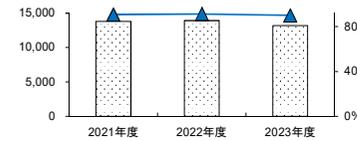
2023年度成果発表

薬剤部 薬剤室

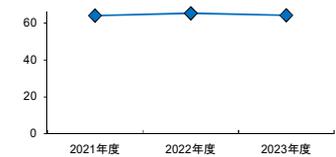


2023年度の成果

薬剤管理指導業務



退院時指導率

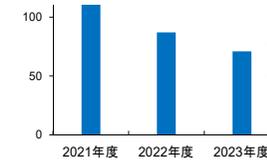


実施率目標 90.0%
実績 90.2%



退院指導目標 65.0%
実績 64.0%

総合評価調整加算



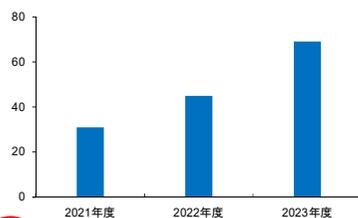
実施目標 120件
実績 71件



2023年度の成果

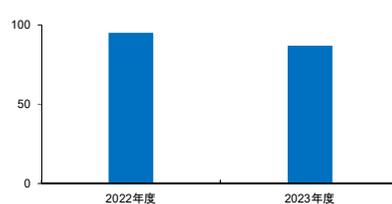
<連携強化>

退院時薬剤情報連携加算



実施目標 50件
実績 69件

連携充実加算



実施目標 100件
実績 87件



2023年度の成果



認定・専門薬剤師の育成

→新規取得：感染制御専門1名 抗菌化学療法認定1名
認定実務実習指導1名 骨粗鬆症マネージャー2名



後発品使用体制加算の取得継続

→使用率90%以上カットオフ値50%以上の
加算 I の取得継続



バイオシミラーの使用促進

→ペグフィルグラスチムBSの採用



2023年度の成果

『院外処方箋における
疑義照会簡素化プロトコールの作成』



プロトコールについて院内の調整を実施し
まずは院外処方箋の枚数が多い病院近くの7薬局と
3月4日より運用開始
その他多数の薬局も3月には運用開始



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

医療DXの推進により業務の効率化を図り、対人業務時間を創出する。

薬剤師業務の質を向上させ、患者からもスタッフからも信頼される薬剤師を目指す！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

薬剤部 臨床研究管理室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

【資格取得の推進と人財の活用】

更なる認定CRCの増員(人財育成)
取得した資格を活かした質の向上

→ ○

今年度も新規認定CRCが誕生(計3名)
経験を積みながら継続して質向上を
目指す



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

【治験実施件数の増加】

2023年度は昨年度からの倍増
(目標:実施件数4件、収益900万円)

→ △

2023年度新規受託決定2件(計4件)
収益約550万円



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

【「研究のお作法」の更なる周知】

- ・臨床研究研修会の実施(7/14+バリテス)
- ・ニュースレター発行(隔月)等広報の充実
- ・いつでも気軽に相談できる窓口

→ △

上記は達成できたが、研究情報の漏洩
が発生してしまった。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

医療DXに着手する！

会議資料の電子的共有

→ ○

今年度は依頼者側の問題もありIRBでは着手できなかったが、臨床研究審査委員会にてタブレット端末での資料共有を実施した。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

DCT(分散型臨床試験)やICF(同意説明文書)共通テンプレートなどの新しい変化にも対応しつつ、研究公正・研究倫理を含めた研究者のサポートを継続して実施していきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

放射線診断技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

●高い専門性,タスクシフト



・積極的な認定取得

認定取得 **7認定** (昨年度5認定)
(**1認定**が新規領域での取得)

・RI検査の技師によるRI注入の促進

今年度**23件/月** (昨年度61件)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

●選んでもらえる病院としての強み



・学会を通して当院のPR(演題発表)

静岡県放射線技師会学術大会 **4演題**
日本放射線技術学会総会学術大会 **1演題**
日本放射線技術学会秋季学術大会 **3演題**
日本病院学会 **1演題** 医療の質・安全学会学術集会 **1演題**

・幅広い実習生の受け入れ

優秀な人材確保の足掛かり
今年度 **2校4名** (昨年度2校3名)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

New challenge

●生産性



・医療資材の見直しによる経費削減

CT用耐圧造影エクステンションチューブ
123.6円/個 → 78円/個 (45.6円/個↓) **約319200円/年の経費削減**

・手術件数増加への貢献

手術室担当をローテーション化
円滑な手術のための積極的なサポート



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

New challenge

●人材育成,被ばくへの関心



・教育体制の構築

臨床実習指導者研修受講 **2名**

・被ばく相談員,医療被ばく低減施設認定取得

被ばく相談員 **1名** (新規取得)
施設認定に必要な資格を網羅
放射線危機管理士 **1名** (新規取得)
科内ワーキング設置 (課題の抽出)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

○病院利益の貢献

○技師の育成,教育

○被ばく管理



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

放射線治療技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果一覧

	目標	目標詳細	結果(2月まで)
1	放射線治療人数の増加	実人数 420人 定位放射線治療 85人 IMRT 50%以上	実人数 341人 × 定位 52人 × IMRT 54.1% ○
2	放射線技師法改正による告示研修終了(5名)	全員終了	全員終了 ○
3	専門資格の合格	3名以上	2名 ×
4	時間外の短縮と平均化	平均時間外 220時間/年 時間外差 150時間/年	平均時間外 85時間 時間外差 117時間 ○
5	デジタル機器利用による作業効率の上昇	パワーポイントと音声変換アプリを利用し患者説明ビデオの作成	乳腺4種類、前立腺、内用療法作成 △



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

1. 放射線治療人数の増加

◇ 実人数

目標値	昨年度	本年度 2月まで
420人	378人	341人 (年換算372)

◇ 定位放射線治療

目標値	昨年度	本年度 2月まで
85人	72人	52人 (年換算57)

◇ IMRT

目標値	昨年度	本年度 2月まで
50%以上	57.1%	54.1%



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

2. 告示研修全員終了

本年度 5名終了で全員終了

3. 専門試験の合格

目標 3名→ 2名 放射線治療専門技師
X線CT認定技師

4. 時間外の短縮と平均化

	目標	昨年度	本年度 2月まで
平均時間外	220時間	277時間	85時間 (年換算93)
時間外差	150時間	252時間	117時間 (年換算127)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

5. デジタル機器利用による作業効率の上昇

パワーポイントと音声変換アプリを利用し説明ビデオの作成

乳腺術後照射	4種類→運用開始
前立腺外照射	1種類
内用療法	3種類
小線源説明	2種類

※ ビデオの視聴場所

※ PC



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- ◇ 患者さん向け放射線治療の説明ビデオ
完成(残りの照射部位)
- ◇ エ夫とアイデアによる業務改善
- ◇ 収益の増加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

臨床検査技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

① ISO15189 認定維持 中間審査クリア → ◎

ISO15189認定については、4年間の認定期間中に2回の中間審査が予定されていますが、2023年11月7日に実施された中間訪問審査の結果、12月13日付で認定の継続が承認されました。

② ご意見記録簿報告数 5件以上/月 → ×

要望、苦情、ご意見、改善提案、外部監査の指摘などへの対応
4月～2月 総件数 47件 4.3件/月

③ 外部精度管理調査 総合評点 95点以上 → ◎

評価 : 日臨技 100点
静岡県 97.4点
日本医師会 98.0点



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

④ 採血待ち時間20分以内の比率 90%以上 → ×

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
83%	83%	87%	83%	89%	88%	85%	87%	88%	84%	88%		86%

⑤ 時間外勤務の削減 36協定達成率:100% → ×

達成率 : 97% 2023年度 上限超過 正規職員34名中 1名

⑥ 検体検査業務委託経費率 60%以下 → ×

4月～2月 62% がんゲノム検査の影響を除くと 59%程度

⑦ タスク・シフト指定講習会修了者 80%以上 → ×

正規職員 34名中 修了者 24名 70%



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

⑧ がん診療センター業務への介入

- 臨床検査技師のがんゲノム医療コーディネーター育成
- 遺伝子パネル検査運用の確立
- がんゲノム問診票、システム入力支援
- エキスパートパネル開催支援 40件/年

当初予定の4倍

対応件数 160件以上達成 → ◎



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

⑨ 複数の業務スキルを持つ人材の育成

- ・ 複数部署の兼務やローテーションの導入
- ・ 取得した認定資格やスキルを無駄にしない



急な欠員にも対応できる組織体制構築
職員が実現したいキャリアプランへの支援

今年度、検体検査より生理検査業務にも対応できる
中堅1名、若手1名の育成に成功



TOTAL 4勝5敗



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

数値目標は、あと少しで惜しいものが多くありましたが・・・
来年度に向けて

決意表明

「信頼される検査室」

～院内からも院外からも

目標とされる検査室になる～

“医療の原点は思いやり”の基本理念のもと、
仲間を思いやり、風通しが良く、
活気があふれる職場の実現をしていきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

リハビリテーション技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

目標1.「PT・OTスタッフ1人・1日あたりの単位数増加」

15.8単位(2022年度)

目標 17.0単位 → 結果 **16.7**単位(×)

- ・目標管理への組み込み
- ・専門特化→専門以外にも対応



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

※運営管理会議報告「PT・OT・STスタッフ1人1日あたりの単位数」

2022年度 14.8単位 → 2023年度 **15.6**単位

※STのVF(嚥下造影検査)・VE(嚥下内視鏡検査)への注力割合

2023年度
(2024年2月現在)

2022年度 VF56件・VE16件 → VF**150**件・VE**83**件



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

目標2.「がんリハの人員要因による取り漏れを防ぐため、資格取得者を増加させる。」

①有資格者 目標 14人 → 結果 **14**人(○)

(合計19人)

②がんリハ算定割合

65%(2022年度)

目標 70% → 結果 **70%** (○)

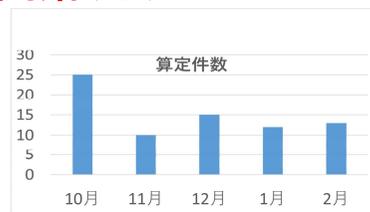


磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

目標3.「早期離床リハ加算の施設基準を満たし、算定開始する。」

➡ 10月より算定開始(○)



※加算条件に該当しない必要な症例は疾患別リハで対応している

◎各診療科の医師の皆様、救命救急病棟看護師の皆様へ感謝申し上げます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

リハ科医師と共に

診療報酬改定に対応し、より**早期**により**多**
くのリハを提供できる体制を構築します。

ADL・QOL向上に寄与し、円滑な早期退院・
転院に貢献します。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

臨床工学科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度 成果(数値)

機器管理

・定期点検実施率	100%	⇒	100%	○
・修理対応率(CE修理/総修理)	70%	⇒	70%	
・委託点検費用の削減	600万円	⇒	600万円	

血液浄化

・透析施行回数	18,000回	⇒	16,850回	×
---------	---------	---	---------	---

手術室

・術中操作立会い率	90%	⇒	98.3%	×
・点検実施率	100%	⇒	100%	
・スコープオペレーター介入率	30%	⇒	11%	

心臓デバイス管理 心・血管カテーテル

・遠隔管理モニタリング診療導入率	85%	⇒	80%	○
・EVT(末梢血管治療)清潔介助介入率	100%	⇒	100%	
・CAG、PCI清潔介助介入件数	100件	⇒	195件	

内視鏡

・上部内視鏡検査介助件数	2,000件	⇒	1,336件	×
--------------	--------	---	--------	---



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

成果①

機器管理

◆データ管理

点検表、機器取り扱い書のデータ化 ⇒ データとしてタブレットへ保存
ペーパーレス化

◆新規導入

心臓植込み型デバイス(3社目)の導入 ⇒ 最適化 ○

◆業務支援

透析穿刺 ⇒ 昼、夜間、休日介入で360時間程度の医師の負担軽減(腎内)

心臓・血管カテーテル ⇒ 2nd、3rdの介入で医師の負担軽減(循内、血外、脳神内) ※血管外科40時間程度の医師負担軽減

内視鏡検査・治療 ⇒ 下部・ESD介助による内視鏡スタッフの負担軽減

医師・スタッフの労働軽減 ○

チャレンジ!

チャレンジ!



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

成果②

業務効率

◆業務改善

透析機器オート化(プライミング、開始、回収) ⇒ 時間短縮、コスト削減
アブレーション治療での準備・展開 ⇒ 治療までの時間短縮 ○

チャレンジ!

費用/加算

◆修理費用削減/加算取得

電子スコープ、洗浄機管理における修理費用の削減
⇒ 修理の見える化(16件 750万円)、洗浄機定期点検、フィルター交換
デバイス遠隔モニタリング診療 ⇒ 新規、電池交換患者導入(277,680点)
透析患者体水分量測定(In Body) ⇒ 加算取得(90名) ×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

成果③

業務分担

◆専門性

各種メンテナンス講習会の参加(人工呼吸器・輸液P・スコープ)
各種専門認定の取得(循環器、医療情報)
各種学会、セミナーでの講演、発表(14演題)

個々の専門性スキルアップ ○

中期計画
/Vibrant
Hospital

◆災害時支援

災害時透析施設ネットワークの共有・県総合防災訓練の参加
患者参加型腎防災訓練

◆Vibrant Hospital

医療機器の安全管理、適正使用 ⇒ 病院機能評価 ○



©磐田市

決意表明

知識・技術をシンカさせ
更なる極みを目指す

シン・臨床工学技士



©磐田市

2023年度成果発表

栄養管理室



2023年度の成果

	目標	結果
がん・栄養指導件数	400件	443件
周術期栄養管理実施加算取得	540件	1174件
入院時栄養指導件数	1800件	1416件



2023年度の成果

化学療法食を11月より提供開始

ひかり食(軽食スタイル)



つつじ食(さっぱりデザート食)



決意表明

チーム力を活かし自部署の目標達成にむけ努力する

患者さんから美味しいと言われる食事を提供していきたい



2023年度成果発表

臨床支援技術科

(歯科衛生士)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

	成果	○ ×
周術期口腔機能管理料 I・II 算定数 1000件	1181件 (2月末まで)	◎
周術期口腔機能管理料 III 算定数 1700件	1694件 (2月末まで)	○
新人教育のためのマニュアル整備	研修指導者・臨床実地指導者等講習会に2名 参加し教育マニュアルの見直し	○
スキルアップのための資格取得	口腔ケア学会認定4級 2名取得	○
摂食機能療法 算定数	昨年度:611件 今年度:713件(1月末時点)	目標外
口腔機能低下症 算定数	66件(2024/1~2024/2)	新規



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

診療報酬改定に伴い、新たに算定できる項目もあるため病院収益に貢献すると共に、口腔から患者様の全身状態の維持・向上を図る。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

臨床支援技術科

(臨床心理士)

【2023年度の成果】臨床心理士 介入実績 取り組み

2023年度 *2024.2まで	心理検査	心理面接 心理援助
精神科	21	180
小児科	151	299
周産期	6	111
脳神経内科	108	53
その他	48	816
PCT活動実績	287	

周産期・小児科

- 出産・子育てにおける親子のメンタルヘルスケア
- 障害特性に応じた新しい心理検査・心理療法の提供
- ・新しいバージョンWISC-V、Vineland-II等導入開始
- Child Protection Team の充実化

がん・緩和ケア

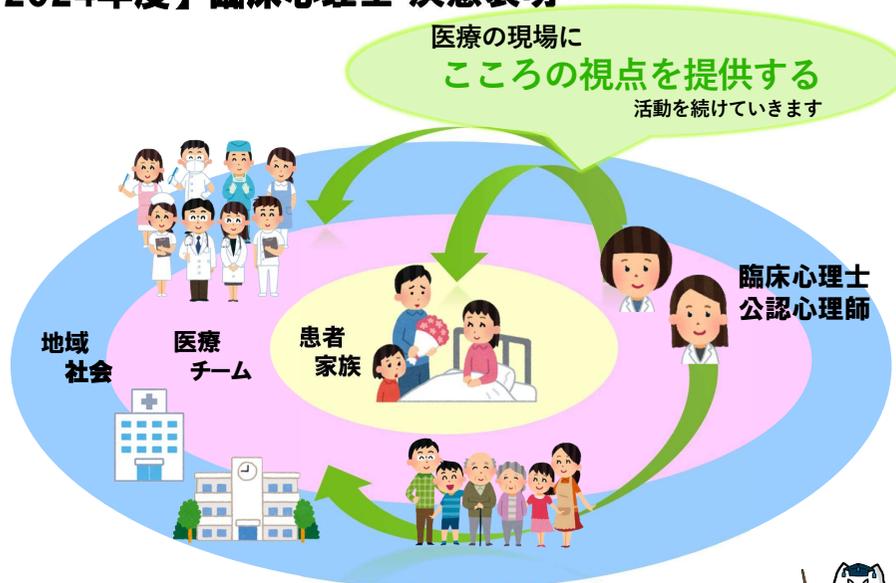
- がん患者の自殺予防対策
- ・対応フローの作成と運用
- ・2023.9.11 自殺予防研修開催
- 専門性の高い心理介入、意思決定支援
- ・AYAサポートチームの企画運営と実践活動
- ・「認定がん専門相談員」の養成
- さまざまながん患者、家族の支援に貢献
- ・「がんサロン」の通常開催、ミニ講座実施

職員のこころの健康

- 職員のメンタルヘルスの充実に向けた取り組みを推進し、生き生きと働ける職場環境整備
- ・院内段階別研修（2年目職員向け）「コミュニケーション・メンタルヘルス」研修に参画



【2024年度】臨床心理士 決意表明



2023年度成果発表

臨床支援技術科

(臨床支援士)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

担当科の垣根を越えたフォローアップ体制を整え、個々の業務量の是正を図る

→担当科の垣根を越えて診断書の作成を行うことで、担当科による業務量の是正を行いました。



一人で抱え込まないことにより、診断書作成期間の短縮に繋がっています。

ある診療科の診断書受付日から医師への依頼までにかかった日数の平均が前年同月比で8日→**4.02日**と短縮しました。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

他部門と協力し、個々がスキルアップすることで、業務量、業務範囲を拡大し、

医師の負担軽減および患者様の満足度向上を目指します！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

臨床支援技術科

(視能訓練士)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

目標① 眼科検査の受入れ強化
→近隣病院で同等機器が普及した影響もあり目標数
に至らず★

目標② 業務内容の共有
→どの業務もフォロー出来るようになりつつある☆

2023新チャレンジ: 眼科外来での硝子体注射の実施
→手術室・外来看護師さんに助けをいただきスタート
12/5～3/11 まで33件、患者様から喜びの声、続出中
☆☆☆



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

硝子体注射に携わる事は業務多様化につながりました。しかし視能訓練士とし、眼科スタッフとし、患者様のためにできることはまだまだあると思っています。

その何かを探しながら もっともっと精進していきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

地域医療連携室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- ①オンライン予約の導入、地域連携システムの将来を見据え、
必要な条件や機能の情報を集める

結果

オンライン予約の導入に備え、予約方法を整理

個人予約廃止、FAX予約の推奨を実施

→診療所への説明文書送付、歯科医師会員へ説明会を実施

電子カルテがオンラインになるか否かが地域連携システムに大きな要素

両方の可能性を考えながら、近隣病院の情報と製品の情報を収集した



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- ②病院、介護施設との連携を強化し、
救急搬送患者連絡票の運用を検討する。

結果

救急搬送患者連絡票の使用状況について調査

救急の医師に使用状況確認→医師は不要

救急事務は、家族等の連絡先が有用

磐田市の救急情報シートに変更検討したいが、磐田市以外の施設は？

介護施設等の所在地により使用する書式を検討。磐田市は使用許可済み



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- ③診療内容のPRや紹介に使える「診療のご案内」を提供する。

結果

感染対策により、診療所の患者待合に「診療のご案内」は置かれていない

全国の病院の近況を調査で冊子の作成をしている病院は減少傾向

各病院HPの充実が主流

「けやき」は定期的に発刊、医療機関以外にも配架し住民に届いている

「診療のご案内」は、当院への紹介する際に参考となるものにしたいが

冊子が必要性情形も含め、医師会員にアンケートを行い再検討



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

取組項目	数値目標	実績
連携医療機関紹介割合	初再診減算50%以上	平均85.8%
連携医療機関逆紹介割合	初再診減算30%以上	平均83.5%
医師との医療機関訪問	年間20件	37件
市民公開講座開催	年間2回開催	2回
出前講座	年間40回開催	43回
学校のがん教育	年間8回開催	8回
全ての非がんパス 合計利用件数	10件	▲ 4件

機能評価では、地域連携の評価は「S」!



決意表明

オンライン予約やウェビナー開催などDXを有効活用し、地域や院内の皆さんと『信頼され協力し合える関係』の構築を進めていきます。



2023年度成果発表

入退院管理室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

項目	数値目標
入院支援 1診療科拡大	診療科拡大できず現状維持 ▲
退院前カンファレンス 150件/年	退院前カンファレンス 140件/年 ※情報共有含め 164件/年(2月まで) ○
平均在院日数 10日台をキープ	9~10日を推移 ○
退院時共同指導料2 80件/年	71件(2月まで) ▲
多機関共同指導加算 40件/年	38件(2月まで) ○
介護支援等連携指導料 90件/年	93件(2月まで) ○

磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

2023年の新しいチャレンジ

★多職種協働で入退院支援

MSWと協働し、入院支援・転院調整を実施



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

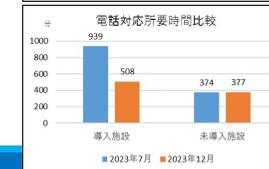
2023年度の成果

2023年の新しいチャレンジ

★転院調整業務のクラウドサービス導入検討
入退院支援クラウド「CAREBOOK」導入



電話対応件数・時間の減少
情報共有がスムーズに
確実な情報伝達が可能



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

患者の意向に沿った退院支援・退院調整

新たな病棟編成で効果的な病床管理

を目指します



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

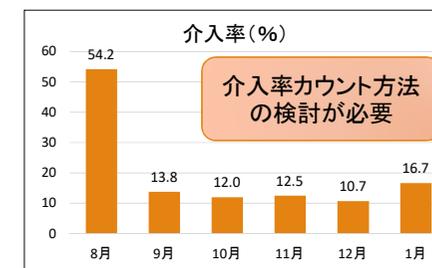
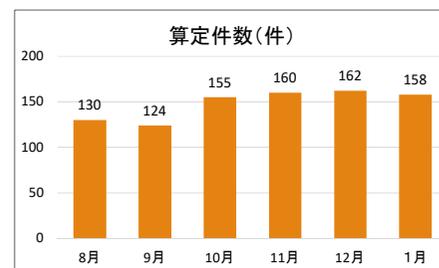
2023年度成果発表

医療・福祉相談室

2023年度の成果

1. 重症患者初期支援加算(300点)取得 ○

予定通り 8月より算定開始。算定件数は150件前後で推移している。介入率は、ほぼ10%程度である。



2. 院内教育の開催 ○

9月9.10日 医療メディエーション研修(基礎編)開催

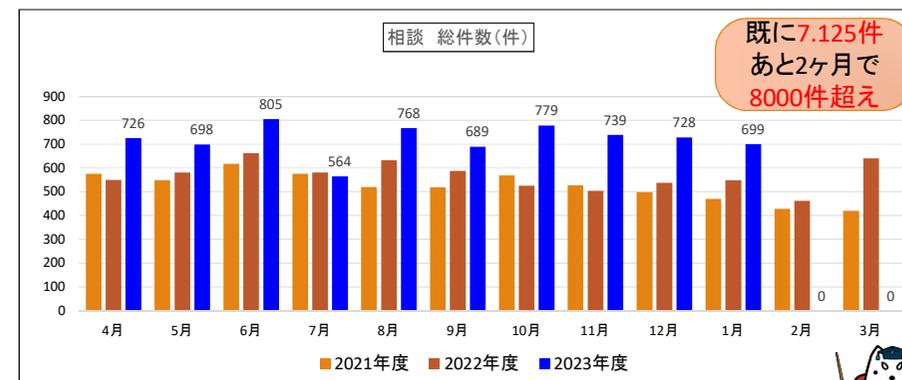
医師 8名 看護師 14名 薬剤師 1名 理学療法士 1名
社会福祉士 2名 事務職 4名 計30名が受講

3. 相談に関する診療報酬に関わる人材育成 ○

がん相談員研修(1)(2)	新規配属者	4名
医療メディエーター研修	新規配属者	3名
重症患者対応メディエーター	部署外スタッフ	1名

4. 相談実績充実と質の向上 ○

2023年1月の段階で総件数は、既に7,000件を超えている。今年度の目標である7,000件を超え8,000件以上の各種相談に対応した。また、配属された職員がそれぞれ相談に対応するための院内外の研修を受講し、そのスキルを現場で活用することで質の向上が図られている。



5. MSWの入退院支援への参画・連携強化 ○

入院支援室へMSW1名を専属配置。部署（診療科）毎にMSWを配置、退院支援への参画することで、MSWの視点を持った支援が行なえ、平均在院日数10日台維持に貢献することが出来ている。

心構え

- いろいろあるけど…
- なるべく文句を言わないで… まずは、
- 「はい。喜んで…！」と、言ってやってみる
- そうすると、何かいいことがあるかもね。



決意表明

- ・重症患者初期支援の**質の向上**を目指します。
- ・引き続き、入退院支援室と連携し、看護師と協働しながら、MSWの視点を持って入退院支援を行い、**在院日数短縮に寄与**します。
- ・安心して相談出来る場所・人となるため、より一層の**自己研鑽**に努めます。



2023年度成果

病院総務課



2023年度の成果

1. 医師の働き方改革への取り組み

- ◆ 国の医療機関勤務環境評価センターの評価受審及び県医療審議会の指定
⇒ 医療機関勤務環境評価センターの評価は受審済み、3月末の医療審議会で指定された ○
- ◆ 勤務間インターバル、代償休息等を制度化と職員への周知
⇒ 7月から8月に医療部の全所属長に、9月から10月に全医師を対象に研修会を開催 ○



2023年度の成果

2. 職員定数の改正

- ◆ 職員数の増加等に対応するため職員定数の改正
⇒ 市との調整が遅れたため、令和6年度以降に再挑戦 ×

3. 危機管理体制の強化

- ◆ 防災訓練の充実
⇒ 準備段階で見直しを実施、防災訓練自体は中止 △
- ◆ 防災マニュアル・BCPの見直し
⇒ 準備段階での見直しを反映予定 ○



2023年度の成果

4. 施設整備の新設・更新

- ◆ 内視鏡センター・栄養管理室厨房の実施設計の実施
⇒ 内視鏡センターの設計を実施中・厨房の設計は来年度以降に実施 △
- ◆ 施設修繕計画の見直し ⇒ 来年度以降に見送り ×
- ◆ ファシリティマネジメントを導入 ⇒ 来年度以降に見送り ×

5. 駐車場の増設

- ◆ 新たな駐車スペース70台の増設 ⇒ 4月使用開始 ○



2023年度の成果

6. コロナ後の病院運営の正常化

- ◆ 運営懇話会を再開 ⇒ 3月27日実施 ○
- ◆ 病院ボランティアの活動再開 ⇒ 活動再開済み ○

7. 業務効率化の推進

- ◆ 業務改善や業務のデジタル化の推進(5つ以上)
 - ⇒ 会計年度任用職員の給与明細の電子配信の実施、年末調整の処理方法の変更、アミボイスの導入、病院総務課フォルダの整理整頓、Logoフォームを利用した証明書発行 ○



決意表明

○あいさつが飛び交う、明るい職場をつくり
ます

○業務には前向きに取り組めます

○業務改善を進め、定時帰宅を目指します

○すべての職員がやりがいを持ち、生き活
きと働ける職場環境の整備に努めます



2023年度成果

医事課



2023年度の成果

1. 取り組み目標

(1) 未収金の早期回収

No	内容	達成度	備考
①	患者設定完済日の1ヶ月前倒しを誘導	○	支払期限延長の課内ルールを見える化し、窓口で完済日前倒しを誘導
②	督促、催告の適時実施	○	



2023年度の成果

1. 取り組み目標

(2) 未収金額の縮減

No	内容	達成度	備考
①	患者設定支払予定額の1割増額を誘導	○	窓口対応フローシートの作成と最低支払額の目安設定により支払増額を誘導
②	債権回収外部委託の強化	○	委託先を1か所から2か所に追加



2023年度の成果

2. 数値目標

【達成度】 過年度分→× 現年度分→×

(単位:円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (2月末現在)	目標値
過年度分	66,842,349	74,355,064	83,022,869	71,000,000
現年度分	33,158,947	29,917,912	34,821,696	28,000,000
合計	100,001,296	104,272,976	117,844,565	99,000,000



決意表明

- ★**支払・回収の新たな手段**について
広く**情報を集め**、未収金削減に
つながる**手法を模索**します。
- ★**早期の介入**による未収金発生の
未然防止に努めます。



2023年度成果

経営企画課

2023年度の成果

経営基盤の強化	中期計画の着実な進捗管理に努める	実施計画達成率 70%以上	69.8% <small>(内訳) テーマ1:64.7% テーマ2:81.8% テーマ3:64.3% テーマ4:71.1%</small>
	収支改善策や価値向上策などの提案	5件以上	6件 <small>(内訳) 2件の増収につながった</small>
	病院機能評価の更新受審と改善の推進	S評価9件(10%)以上	6件(6.8%)
A評価79件(90%)以上		75件(85.2%)	
	B評価以下 ゼロ!	7件(8.0%)	



2023年度の成果

健全な財務体質	物価上昇等に対応するための経費削減	診療材料コスト前年以下	(R5見込) 103.4%
	コロナ関連補助金に依存しない財務管理	経常収支比率97%以上	(R5見込) 92.9%
	監査指摘事項を踏まえた適切な会計処理	監査等における重大指摘事項0件	0件

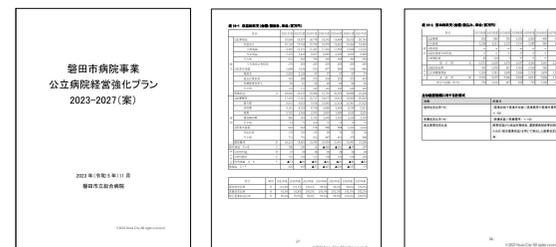


2023年度の成果

○ 公立病院経営強化プランの策定

済

R6. 2. 13 地域医療調整会議へ提出



R9年度には黒字化を実現する計画の策定



決意表明

経営企画課は、「**縁の下の力持ち**」

として病院経営に貢献したいと考えています。

私たち、経営企画課のお客様は、「**病院の職員の皆様全員**」

です。

「**明るく楽しく、そしてスピーディーに**」

をモットーに、何事にも真摯に対応しますので何でもご相談

ください。今後とも、どうぞよろしく申し上げます。

